

2022年度 IFA 審判員強化研修会

インストラクター研修会

(公財) 茨城県サッカー協会 審判委員会

鹿嶋サッカーフェスティバル2022（ユースの部）にご協力いただき、審判員強化とインストラクターの研修会を開催しました。

感染拡大の不安定な状況下の中、無事に大会の開催並びに研修会が開催出来たのも、多くの方々のご尽力によるものと関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

普段の審判活動では一緒に試合を担当する機会はない様々なカテゴリーの審判員、インストラクターが試合会場で顔を合わせ、大会を運営していく貴重な研修会となりました。

【大会期間】 2022年8月11日(木)～13日(土)

【参加者数】 審判員：51名 インストラクター：30名

8/11（予選リーグ：20試合）

8/12（予選リーグ：12試合、順位決定戦12試合）

8/13（順位決定戦、決勝戦：13試合）

【研修内容】

- 審判員：
- ・ 試合の実践
 - ・ 他の審判員の観戦研修
 - ・ アセッサーとの振り返り

- インストラクター：
- ・ 試合後の振り返り、アセスメントレポート作成
 - ・ 上級インストラクターからのアドバイス



インストラクター3級
(SI3)

振り返り内容について
アドバイス

上級インストラクター
1級、2級(SI1,SI2)

試合内容振り返り＋
アセスメントレポート

質問等

担当審判員
主審：副審

【座学】 @カシマススポーツセンター

8/11(木) 18時～

◎岡部拓人 1級審判員 **【著しく不正なファウルプレー】**

選手生命を脅かしたり終わらせる可能性のあるタックルやチャレンジなどを排除するために、退場となる著しく不正なファウルプレーを判断するためのポイントを学習しました。

正しい判定をする上での考慮事項を網羅しつつ、その考慮事項を正しく判断する為のポイントを具体的な表現をもとに整理。映像で実際に起きた事象を確認しながら、ディスカッションを交え、フィールド上で正しく判断するためのトレーニングを行いました。



◎藤ヶ崎敦 1級審判インストラクター **【動きとポジショニング】**



7月下旬に行われた日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会の試合映像を交えながら、より良い判定に繋げるための動き方や、ポジショニングについて解説していただきました。

特に、次の争点に対しての動き出しや加速(アクセラレーション)について、見本となる審判員の動きを映像で確認しながら、把握すべき情報や判断材料・タイミングなどのポイントについて整理し解説いただきました。

【8/13（土） 順位決定戦】 @カシマスタジアムサブグラウンド 他
決勝戦・準決勝を含め、11試合が7会場で行われました。
決勝戦は、昌平高校（埼玉県）対八千代高校（千葉県）の対戦となり、
2-0で昌平高校が勝利しました。



決勝戦を担当した審判員によると、

「試合内容については、前半の途中で急な豪雨があり一時はどうなるかと心配しましたが、雨も止み、選手たちはとても素直でプレーに集中してくれていたため、こちらから介入する場面も少なくスムーズな試合を進めることができました。

そのお陰もあり、素早い予測・動き出しに意識を持っていける余裕ができて、表現することができました。」とのコメントの通り、フェアなゲームを両チーム、審判団の協力のもと展開し、3日間の大会を締めくくる決勝戦にふさわしい熱戦となりました。

【まとめ】

コロナ禍の不安定な状況下にも拘わらず、無事に大会及び研修会が開催出来ましたのも、全国から参加いただいた24チーム、大会関係者の皆さまのご尽力によるものと改めて感謝申し上げます。

多くの審判員、インストラクターが集まり研修会が実施できるのも非常に貴重な機会であり、普段の試合以上に、「見る/観る/視る」「聞く」ことが多くあり、そこから学べることや発見、刺激があったかと思えます。

今回の研修会で得たことを今後の審判活動に活かし、一人ひとりが更にレベルアップを図ることを期待し、今後も審判員およびインストラクターの強化を図っていきたくと考えております。

（文責：指導部 川俣秀）